

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

手根管症候群術後の患者満足度に影響する因子の検討

[研究責任者]

江南厚生病院 リハビリテーション室 作業療法士 北山淳一

[研究の概要]

手根管症候群（以下 CTS）は最も頻度の高い絞扼性神経障害として知られています。症状として正中神経領域に一致するしびれ感や夜間痛、また母指球筋の筋力低下や萎縮などが挙げられます。手術療法としては直視下及び鏡視下での手根管開放術があり、いずれも良好な症状の改善が報告されています。一方で、近年患者立脚型評価の重要性が報告されており、治療成績評価の際に重視される傾向にあります。患者さんの満足度に影響する要因としては、年齢、握力、抑うつなどが報告されていますが未だ一定した見解はなく、本研究は CTS 術後の患者満足度に影響を与える因子の検討を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2019年4月1日から2022年3月31日の間に当院にて手根管症候群の手術を受けられ、電子カルテにて手術から1年後までの経過が確認できる方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、利き手、重症度、握力、ピンチ力、Semmes Weinstein Monofilament test、Hand20、CTSI、満足度のNRS 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 リハビリテーション室 作業療法士 北山淳一

電話 0587-51-3333